

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-48856 (P2021-48856A)

【公開日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-016

【出願番号】特願 2020-196320 (P2020-196320)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

G 0 1 N 33/493 (2006.01)

G 0 1 N 33/497 (2006.01)

G 0 1 N 33/00 (2006.01)

A 0 1 K 67/033 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

【F I】

C 1 2 N 15/113 1 4 0 Z

G 0 1 N 33/493 A

G 0 1 N 33/497 D

G 0 1 N 33/00 C

A 0 1 K 67/033 5 0 1

C 0 7 K 14/705 Z N A

C 1 2 Q 1/68

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検者由来の尿の匂いに対する線虫の反応を指標として癌を検出することを特徴とする癌の検出方法であって、

被検者由来の尿に対して、癌患者の尿に誘引行動を示さない線虫の遺伝子変異株が負の応答を示したときは、当該応答結果は、被検者は癌である、又は癌のリスクがあると判定することの指標となる、前記方法。

【請求項 2】

被検者由来の尿の匂いに対する線虫の反応を指標として癌を検出することを特徴とする癌の検出方法であって、

被検者由来の尿に対して、線虫の N2 株が正の応答を示し、かつ癌患者の尿に誘引行動を示さない線虫の遺伝子変異株が負の応答を示したときは、当該応答結果は、被検者は癌である、又は癌のリスクがあると判定することの指標となる、前記方法。

【請求項 3】

被検者由来の尿の匂いに対する線虫の反応を指標として癌を検出することを特徴とする癌の検出方法であって、

被検者由来の尿に対して、癌患者の尿に誘引行動を示さない線虫の遺伝子変異株が正の応答を示したときは、当該応答結果は、被検者は癌ではない、又は癌のリスクが小さいと

判定することの指標となる、前記方法。

【請求項4】

被検者由来の尿の匂いに対する線虫の反応を指標として癌を検出することを特徴とする癌の検出方法であって、

被検者由来の尿に対して、線虫のN2株が正の応答を示し、かつ癌患者の尿に誘引行動を示さない線虫の遺伝子変異株が正の応答を示したときは、当該応答結果は、被検者は癌ではない、又は癌のリスクが小さいと判定することの指標となる、前記方法。